

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	華俱樂部 子ども支援		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 26日		～ 令和7年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 26日		～ 令和7年 3月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	天候に左右されない屋内人工芝コートがある事で、広々とした空間での活動が出来ること。	身体を思いきり動かす活動内容を計画し、お子様の課題や状態に合わせて複数人の職員が付き添っている。 集団活動の時間はお子様が集中できるように、30分程度の活動を行っている。(長期休みは午前と午後、30分程度を2回実施。)	活動に使う道具の種類を増やす事で、個々に必要な課題に対する取り組みをより充実させる事が出来る。
2	学習する時間を確保し、環境設定や必要に応じて職員の付き添いを行っていること。	・個別で付き添い、宿題に取り組む事で、お子様の引っ掛かりに気づく事が出来、タイムリーに保護者様や関係機関と現状の共有が出来るようにしている。	必要に応じて学校など関係機関との情報共有を行い、お子様のペースに合う学習内容や方法を見つける。職員間でも一人ひとりの理解度の共有を行い、支援していく。
3	集団活動内容のバリエーションが幅広いこと、お子様の好きな活動が出来る余暇時間のメリハリがあること。	お子様や保護者様に分かりやすく活動内容(月間スケジュール)を記載して配布。専門的実施支援も実施しながら小集団や個別で対応している。余暇時間はお子様たちの希望を聞き、好きな場所で過ごせるような職員配置を配慮している。	職員間でお子様の状況・情報共有を行い、日常的に活かせるような(学校やご家庭でも活かせるような)内容を組み込んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日の外出やレクリエーションが少ない。	安全面に不安がある。	引率できる職員の充実(増員)や、安全にレクリエーションが出来るようなお出かけ場所のリサーチ。
2	地域との交流が少ない。	企画や準備をする時間の確保が難しい。	職員の負担にならないように長めの準備期間を設けてイベントを企画する。マルシェやイベント等、地域の方に事業所への理解や来所のきっかけ作りとなるような内容も盛り込む。SNS等も利用し積極的に発信していく。
3	職員間の情報共有や新人職員の育成。	外部の研修に参加する時間や人員の確保が難しい。	研修に出れるように人員を確保する事。事業所内で受けられるイーラーニング研修は取り入れている為、職員が研修を受けられる時間を作り、積極的に実施していく。

